Museum | News

美術館ニュース 群馬の森

no.185
2021 7/1

THE 15TH GUNMA BIENNALE FOR YOUNG ARTISTS

群馬青年ビエンナーレ 2021

2021年7月17日［土］－8月22日［日］

開館時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
会　　場：展示室 3、4、5 他
休 館 日：毎週月曜日（ただし 8 月 9 日、16 日は開館）、8 月 10 日（火）
観 覧 料：一般 300（240）円、大高生 150（120）円
＊（　）内は 20 名以上の団体割引料金
＊中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者 1 名は無料
審 査 員：荒木夏実（東京藝術大学准教授）、澤田知子（写真家）、鈴木ヒラク（アーティスト）、長谷川新（インディペンデントキュレーター）、鷲田めるろ（十和田市現代美術館館長）
＊ 50 音順・敬称略

「群馬青年ビエンナーレ」は、16歳から30歳までの若い世代を対象とした全国公募の展覧会です。第15回となる今回は、318組（321名）から459点の応募があり、そのうち50名による50点が入選しました。7月に行われる入賞審査により、大賞、ガトーフェスタ ハラダ賞、優秀賞、奨励賞が決定し、入賞作品を含む全入選作品を、この展覧会で紹介します。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、本展は当初の予定より半年遅れての募集となりました。書類選考を経て入選を果たした 50 点の作品には、次世代のアーティストたちが時代や社会に抱く不安、怒り、そして希望が託されています。アートと社会の現在地を切りとった作品の数々を是非ご覧ください。

線のメルヘン　南 桂子と銅版画家たち

2021年7月10日［土］－8月22日［日］　＊会期が変更となりました。

開館時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
会　　場：展示室 1
休 館 日：毎週月曜日（ただし 8 月 9 日、16 日は開館）、8 月 10 日（火）
観 覧 料：一般 300（240）円、大高生 150（120）円
＊（　）内は 20 名以上の団体割引料金
＊中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者 1 名は無料

南　桂子《少女と小鳥の木》 1967年
群馬県立館林美術館蔵

「南桂子（1911－2004）は、少女や鳥などを細い線で描き出し、メルヘン的な叙情性を持つ作品で知られる銅版画家です。どこか懐かしく、少し寂しいその世界は、見る人それぞれの優しい記憶を呼び起こしてくれることでしょう。

この展示では、南桂子の作品 67点と他の作家による作品 25点により、線による繊細な描写が生む幻想的で詩情豊かな銅版画の魅力を紹介します。

【関連事業】

□**学芸員による作品解説会**
7月 14日（水）、8月 8日（日）
各日とも午後 2時～ 3時
2Ｆ講堂　定員 70名（申込不要・要観覧料）

□**南桂子の童話の時間**　協力：NPO法人「時をつむぐ会」
会期中会場内で、南桂子が創作した童話の朗読を行います。
7月 18日（日）、8月 14日（土）各日とも午前 11時～、午後 2時～

こども＋おとな＋夏の美術館

2021年7月22日（木・祝）～8月22日（日）

夏休み期間中、「群馬青年ビエンナーレ２０２１」入選作家によるワークショップや「線のメルヘン－南桂子と銅版画家たち」に関連したアートを体験できます。申込方法をご確認の上ご参加ください。

大塚裕貴《object view #17》

ワークショップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

新しい風景をつくろう【要申込／無料】

講師：大塚裕貴（群馬青年ビエンナーレ 2021 入選作家）
日時：８月７日（土） 13：00 ～ 16：30
会場：２階アトリエ
対象：小学生～一般（小学３年生以下は保護者同伴）
定員：10 名

指人形をつくろう【要申込／無料】

講師：山﨑稚子（群馬青年ビエンナーレ 2021 入選作家）
日時：８月２１日（土） 13：00 ～ 16：30
会場：２階アトリエ
対象：小学３年生～一般
定員：10 名

mini ワークショップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

ほって、すって！版画体験【要申込／無料】

期間：7 月 25 日、28 日、8 月 1 日、4 日、8 日、11 日、15 日、18 日、22 日（毎週水・日曜日）
時間：10：00 ～／ 14：00 ～
会場：２階アトリエ
対象：小学生～一般（小学３年生以下は保護者同伴）
定員：各 15 名

【申込方法】

※６月 22 日（火）９：３０から先着順（受付開始前の申込みは無効となります。）
電話、E メール、FAX のいずれかで、以下の内容をお知らせください。
①参加希望のワークショップ名
（「ほって、すって！版画体験」の場合は、参加したい日時と時間）
②お名前（複数の場合は全員）
③年齢（複数の場合は全員）
④ご連絡先（電話番号／ E メールアドレス／ FAX 番号）
※電話の受付は、９：３０～１７：００となります。（月曜日を除く）
※定員になり次第受付を終了いたします。

申込・お問い合わせ先：群馬県立近代美術館　教育普及係
TEL 027-346-5560　FAX 027-346-4064
E-Mail: bijutsu@pref.gunma.lg.jp

mini ワークショップ・・・・・・・・・どなたでも参加できます。・・・

切って、かざって！【申込不要／無料】

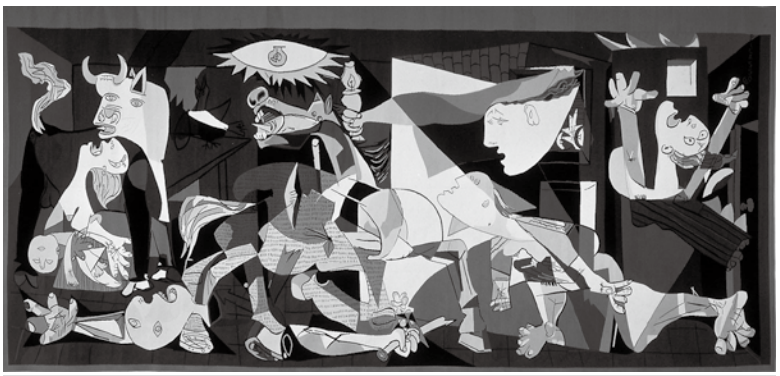
日程：7 月 22 日、24 日、29 日、31 日、8 月 5 日、7 日、12 日、14 日、19 日、21 日（毎週木・土曜日）
時間：10：00 ～ 16：00
会場：1 階ギャラリー
※一度にご用意できる席は６席のため、お待ちいただく場合もございます。

＊会場では、「新型コロナウイルス感染症に係る県主催イベント等実施ガイドライン」等に基づいた対策を実施します。
＊感染状況などにより、内容を変更または中止する場合があります。最新の情報は当館 HP 等をご確認ください。

Collection

［展示室 2］　コレクション展示

■日本と西洋の近代美術Ⅱ　7/3 ～ 8/22



パブロ・ピカソ（原画）／ジャクリーヌ・ド・ラ・ボーム=デュルバック（織り）
《ゲルニカ（タピスリ）》1983年（原画：1937年）

20世紀の巨匠パブロ・ピカソ（1881-1973）が生涯に制作した作品は数万点とも言われていますが、その中でも代表作とされるのが《ゲルニカ》（1937年／油彩・カンヴァス／ 349.3×776.6cm／国立ソフィア王妃芸術センター、マドリード）です。

1937年 4月 26日、スペイン内戦に介入したナチス・ドイツは、スペイン北部バスク地方の古都ゲルニカを無差別爆撃し、罪なき多くの人々の命を奪いました。母国におけるこの暴挙に激しい怒りを覚えたピカソは、その直後に開催が迫っていたパリ万博のスペイン館壁画として、わずか 1ヶ月あまりの間に大作《ゲルニカ》を描き上げました。

当館は、この《ゲルニカ》を原画としてピカソ自身の指示に基づき、ほぼ原寸大で織られた《ゲルニカ（タピスリ）》3点のうちの 1点を収蔵しています。タピスリ（綴れ織り壁掛け）の素材は光に弱く展示期間が限られるため、今回はおよそ 1年ぶりの公開となります。《ゲルニカ》と前後して制作され、内容やモチーフの上で密接な関係がある 2枚組の版画《フランコの夢と嘘》や、同じく第二次世界大戦中のヨーロッパで制作されたミロやフォートリエの版画作品とあわせて、ぜひこの機会にご覧ください。

［展示室 6・7（山種記念館）］

■生誕 100 年　塩原友子　紙の命・線の力　7/3 ～ 8/22

塩原友子《花に生きる》1982年

群馬県前橋市出身の日本画家、塩原友子（1921-2018）は、日本の風土や美意識によって培われてきた線や色彩を重視しながら、幾何学的な画面構成など様々な技法や斬新な画題を試み、伝統的な日本画の枠組みにとらわれない独自の世界を確立しました。

今回は塩原の生誕 100年を記念して、初期の穏やかな人物画から、様々な紙を貼り付けて組み合わせるコラージュや凹凸をこすって写しとるフロッタージュのような技法を用いた実験的作品、そして絵具を削って生み出した線によって故郷の山々をダイナミックにとらえた屏風まで、その多彩な表現を当館所蔵作品によってご紹介します。

Museum | News

友の会だより

Museum :. Shop　書籍２種類のシリーズが新入荷しました！

『色えんぴつ　シリーズ』

色えんぴつで「らしく」「簡単に」「かわいく」描けるヒントがたくさん詰まったシリーズ。陸・海・空の動物や草花の描き方のテクニックをわかりやすく教えてくれます。色えんぴつの塗り方のコツ、選び方など初心者が知りたいポイントが満載！描きながら楽しめる豆知識も豊富です。

「色えんぴつでかわいいシリーズ」 著：秋草　愛　　各税込￥1,540
「どうぶつのかたち練習帳」 著：秋草　愛　　税込￥1,518
「12 ヶ月のかわいいモチーフと花模様」 著：田代　知子　　税込￥1,518
「小さな花とかわいい模様」 著：田代　知子　　税込￥1,408

『招待　シリーズ』

美術を楽しく鑑賞できるポイントをわかりやすく解説したシリーズ。フェルメールやルノワールの作品をキーワードから紐解いたり、拡大して原寸大の筆使いを感じたり、値段を比べてみたり、印象派の誕生までの 50年を 10の事件でカウントダウンしてみたりと、様々なアプローチが楽しめる読み物としても満足できる一冊です。

西洋美術編　税込￥1,320 ～￥1,870
日本美術編　税込￥1,650 ～￥1,870

お問い合わせ：群馬県立近代美術館友の会　TEL 027-346-5560（代表）／ FAX 027-346-4064

作品ひとつ ／ヘンリー・ムーアの羊日記

松下由里

1972年、ヘンリー・ムーアのスタジオは、フィレンツェで開催する大回顧展の準備にかかり、大型の彫刻作品を梱包する作業に追われていた。静かな場所を求めてムーアが移った小部屋の窓は、羊が放牧された緑地に面していた。

ヨークシャーで育ったムーアにとって羊はごく見慣れた存在であった。最初は羊毛の塊に、頭と脚が付いている単純な形に見えたが、観察するうちに一匹ごとの個性が見分けられるようになる。ムーアが羊の関心を引くと、羊の特性として5分程度じっとしているため、その間に、まるで人間のモデルを描くかのようにスケッチすることが出来る。

遠くに群れる羊たちの姿に始まり、こちらを見据える羊の顔、真横から見た堂々たる姿、去って行く後ろ姿が次々とスケッチされる。作品の梱包作業は3週間ほどで終わり、羊観察の日々は終わるかに思われたが、続いて仔羊の誕生シーズンを迎える。母と子の姿を生涯にわたりテーマとしたムーアは、羊の親子に強く惹きつけられる。ムーアは仔羊が乳を飲む際の生命力や暴力性を表現しようとつとめ、聖書に描かれた羊のもつ象徴的な意味を感じ取っている。

フィレンツェで展覧会を行い、イタリアでの制作を行った夏を終えてスタジオに戻ってくると、羊は毛を刈られた後であった。羊は毛の下に隠れていた体の形をあらわにし、痩せて見捨てられたように見えた。その姿をもスケッチして一連の羊観察は終了した。

ムーアは羊を主にボールペンでスケッチし、ジクザグの線を重ね、圧力を加えてより黒く太い線としてボリュームを捉え、さらに強調したい部分にはフェルトペンを用いている。羊のどっしりとした立ち姿はモニュメンタリティを備え、まるで風景の中の石のようにゆるぎない存在感をたたえている。これら全49枚のスケッチから1972年に6点、1974年に10点を選び、ニードルによるより細い描線も加えたエッチングとして《羊連作》をまとめた。

現在、ムーアが羊をスケッチした庭園には抽象化された柔らかい二つの形が呼応する大型の作品《シープ・ピース》が置かれている。《羊連作》に描かれた羊たちは、今も自由に《シープ・ピース》の周りに戯れ、彫刻作品と風景をひとつに結びつけているのである。

上から
〈Ⅶ 羊の頭〉〈Ⅱ 羊の親子Ⅰ〉
エッチング、ドライポイント・紙
〈Ⅹ 羊の後姿〉エッチング・紙
以上 ヘンリー・ムーア《羊連作》
1975年刊行 ed. 15/80より

次回展覧会案内

関東南画のゆくえ
江戸と上毛を彩る画人たち

2021年9月18日［土］－11月7日［日］

会　場： 展示室1
休館日： 毎週月曜日（ただし9月20日は開館）、9月21日（火）
観覧料： 一般 900(720) 円、大高生 450(360) 円
＊（　）内は20名以上の団体割引料金
＊中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名、
群馬県民の日（10月28日）に観覧される方は無料

谷文晁《隅田川両岸図》 戸方庵井上コレクション

江戸時代後期、中国絵画に影響を受けておこった南画（文人画）は関西で確立し、各地へと伝播しました。さらに地域ごとに独自の展開を見せながら広く愛好され、日本近世絵画史を彩る人気画派の一つとなります。

谷文晁は、18世紀から19世紀にかけての江戸画壇で中心的役割を担った画家で、関西とは異なる展開を見せた関東南画の大成者です。ありとあらゆる画技を学び独自の画風を作り上げました。様々な文化人たちと交遊するとともに、渡辺崋山や椿椿山、立原杏所ら門人を多く輩出し、その影響は地方へともたらされていきました。

本展では、江戸から広まった関東南画を軸に、文晁や崋山ら江戸を中心に活躍した画家たちと、金井烏洲ら群馬の画家たちの作品を紹介します。今日、群馬で活躍した画家については、残念ながらほとんど知られていません。関東南画を群馬という地域からみつめ、彼らの画業と功績をたどります。関東南画の多彩な魅力を発見する機会になれば幸いです。

群馬の森 美術館ニュース

群馬県立近代美術館
THE MUSEUM OF MODERN ART, GUNMA
〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1 群馬の森公園内
TEL 027-346-5560 FAX 027-346-4064
http://mmag.pref.gunma.jp/

デザイン：寺澤事務所・工房
印　　刷：上毎印刷工業株式会社